

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

戦無き世の有り難さしみじみと

ウクライナ春来るや知らんぞ

●宮古市 太田屋滋

風になり友の家々巡りては

元気だせよと声をかけたし

●印西市 山田 明

晩秋の庭先にぎやか渡り鳥

いろんな声が聞こえてくるよ

●狛江市 根方一吉

友人へ祝う初孫たおやかな

生長願い色紙を贈る

●平塚市 田中博由

古里に幼き思い出訪ね行き

見知らぬ人のやさしき笑顔

●四日市市 河合 勲

ファミレスでシニア割引頼んだら

確認もなく顔パスされた

●三重県東員町 木下加津代

俳 句

倦怠感熱い雑炊夫婦して

●仙台市 菱沼俊行

朝の路終の葉一枚息も白

●小山市 塚野 京

冬木立枝の仔細をむき出しに

●本庄市 長谷川千鶴子

泣く児にもサンタクロース微笑みて

●草加市 長谷部禎子

新酒つぐ嘘つけぬ人赤くなり

●戸田市 篠崎志津子

年明けの耳に優しい春の海

●朝霞市 林 則雄

小春日に平和と元氣祈るかな

●武蔵村山市 原野晴光

霊水を汲み来し朝に初雪舞ふ

●中野市 高木武彦

日溜まりを歩きつ戻りつ冬の蜂

●塩尻市 大家協治

空ゆがむ程に自在や椋鳥群れて

●塩尻市 奥原光夫

七五三紋付き袴でアルバムに

●塩尻市 小野正平

秋色の日ざしに似合う吾亦紅

●塩尻市 町田まさ子

命あれ師走迎えて感謝する

●綾部市 岩瀧憲一

長岡京ガラシヤ祭やお玉さん

●長岡京市 宮先一雄

冬芽へとはあと息かけたき日和

●明石市 小田和子

雪のこゑ聴きつつ鋏を振り下ろす

●明石市 小田慶喜

肩並ぶおでん屋台の同期生

●伊丹市 磯部芳子